

【指定介護老人福祉施設入居申込書記入要領】

「入居申込書」のご記入にあたっては、下記の記入要領をご覧の上、必要事項をご記入ください。

1. 申込者（連絡先）について

1. 入居申込みをしていただいた後、連絡先として、確実に連絡のとれる方の住所、氏名、電話番号をご記入ください。
2. したがって、必ずしも入居される本人ではなく、家族などが連絡先となることもあります。

2. 申込先（入居希望施設）について

この申込書を提出する施設名をご記入ください。

3. 保険者について

旭川市とご記入ください。

4. 氏名、生年月日、現住所等について

1. 入居を希望される本人（以下「本人」といいます）について、氏名、生年月日、現住所、性別、保険者、被保険者番号、要介護度、要介護認定期間をご記入ください。
2. この場合、「介護保険被保険者証」を確認の上、ご記入ください。

5. 現況について

1. 本人が現在、どこで生活しているかについて、あてはまる□欄に、をつけてください。
2. 施設や病院に入所（院）している場合は、その施設・病院の名称、所在地（市町村名のみで結構です）、さらに入所（院）した時期をご記入ください。

6. 介護者等の状況について

1. 家族構成（本人の家族構成についてご記入ください）
 1. 独居の場合は、「ウ」にをつけてください。
 2. 高齢者夫婦世帯の場合は、「イ」にをつけてください。
注：高齢者世帯＝男65歳以上、女60歳以上の者のみで構成するか、又はこれに18歳未満の者が加わった世帯をいう。
 3. 上記“1”“2”以外の場合は、「ア」にをつけてください。
 4. 施設や病院に入所（院）している場合は、在宅時の家族構成でご記入ください。
2. 介護者の有無
 1. 主に介護する方のほかに、必要に応じて介護の応援をしてくれる方がいる場合は、「ア」欄にをつけてください。
 2. 介護者が1人の場合は、「イ」欄にをつけてください。
 3. 介護者がいない場合は、「ウ」欄にをつけてください。
 4. 施設や病院に入所（院）している場合は、在宅での介護者の有無についてご記入ください。
3. 介護者の年齢
 1. 介護者の年齢が60歳未満である場合は、「ア」欄にをつけてください。
 2. 介護者の年齢が60～74歳である場合は、「イ」欄にをつけてください。

3. 介護者の年齢が75歳以上である場合は、「ウ」欄にをつけてください。なお、“介護者がいない”場合も「ウ」欄にをつけてください。
 4. 施設や病院に入所（院）している場合は、在宅での介護者の年齢についてご記入ください。
4. 介護者の健康
1. 介護者が健康である場合は、「ア」欄にをつけてください。
 2. 介護者が現在、病気の治療を受けているなど、健康に不安を抱えている場合は、「イ」欄にをつけてください。
 3. 介護者も要介護者である場合は、「ウ」欄にをつけてください。なお、“介護者がいない”場合も「ウ」欄にをつけてください。
 4. 施設や病院に入所（院）している場合は、在宅での介護者の健康についてご記入ください。
5. 介護可能時間
1. 介護者が、介護にあたる時間が十分にあるという場合は、「ア」欄にをつけてください。
 2. 介護者が、何らかの理由で一部不在になることがあるという場合は、「イ」欄にをつけてください。
 3. 介護者が、何らかの理由でほとんど介護にあたる時間がないという場合は、「ウ」欄にをつけてください。なお、“介護者がいない”場合も「ウ」欄にをつけてください。
 4. 施設や病院に入所（院）している場合は、在宅での介護可能時間についてご記入ください。
6. 要介護者との関係＝回答しづらい点もありますが、できるだけ、率直に回答ください＝
1. 本人と介護者の関係が良好である場合は、「ア」欄にをつけてください。
 2. 介護者が、介護に対して疲れていると感じている場合は、「イ」欄にをつけてください。
 3. 介護者が、介護に対して非常に疲れていると感じ、最低限の介護しかできていないという場合は、「ウ」欄にをつけてください。なお、“介護者がいない”場合も「ウ」欄にをつけてください。
 4. 施設や病院に入所（院）している場合は、在宅での要介護者との関係についてご記入ください。

7. 生活・経済状況について

1. 待機状況
1. 本人が、現在、施設や病院に入所（院）している場合は、次のようにご記入ください。
 - 1) 現在、入所（院）している施設や病院から退所（院）してほしいとの働きかけがない場合は、「ア」欄にをつけてください。
 - 2) 現在、入所（院）している施設や病院から退所（院）してほしいとの働きかけがある場合で、
 - ①とくに期限を定めて退所（院）してほしいとの働きかけがない場合は、「イ」欄にをつけてください。
 - ②6ヶ月から1年以内くらいに退所（院）してほしいとの働きかけがある場合は、「ウ」欄にをつけてください。
 - ③半年以内に退所（院）してほしいとの働きかけがある場合は、「エ」欄にをつけてください。
 2. 本人が、現在、自宅で生活している場合は、「オ」欄にをつけてください。
2. 在宅サービス利用率
1. 本人が、現在、施設や病院に入所（院）している場合は、「ア」欄にをつけてください。
 2. 本人が、現在、介護保険の在宅サービスを利用している場合で、要介護度ごとに設定されている在宅サービスの利用限度額に対して、
 - 1) その限度額の40%未満しか利用していない場合は、「イ」欄にをつけてください。
なお、現在は何も在宅サービスを利用していない場合も、「イ」欄にをつけてください。
 - 2) その限度額の40～60%未満を利用している場合は、「ウ」欄にをつけてください。
 - 3) その限度額の60～80%未満を利用している場合は、「エ」欄にをつけてください。
 - 4) その限度額の80%以上を利用している場合は、「オ」欄にをつけてください。

注1：詳しく分からない場合は、担当の居宅介護支援事業所の介護支援専門員（ケアマネジャー）の方にお尋ねください。

注2：なお、在宅サービスの利用を始めたばかりで、利用実績がない場合は、ケアプラン上の予定額で結構です。

3. 在宅サービス利用状況

1. 本人が、現在、施設や病院に入所（院）している場合は、「ア」欄にをつけてください。
2. 在宅サービスを利用している場合で、“十分にサービスを利用している”という場合は、「イ」欄にをつけてください。
3. 在宅サービスを利用している場合で、“まあまあサービスを利用している”という場合は、「ウ」欄にをつけてください。
4. 在宅サービスを利用している場合で、利用料負担などのため、“一部、サービスの利用を抑制している”という場合は、「エ」欄にをつけてください。
5. 在宅サービスを利用している場合で、利用料負担などのため、“サービスの利用をかなり抑制している”という場合は、「オ」欄にをつけてください。

4. 保険料の段階

1. 介護保険の保険料は、本人の所得状況などに応じて5段階に設定されています。お手持ちの保険料通知書などで確認の上、保険料の段階について、第1段階から第5段階（第6段階以上に設定されている場合は、この第5段階に含めてください）について、あてはまる欄にをつけてください。
2. なお、分からない場合は、お住まいになっている市町村の担当課にお問い合わせください。

5. 住居

1. 現在、施設や病院に入所（院）していて、退所（院）後の居住がある場合は、「ア」欄にをつけてください。
2. 現在、本人の住居が、快適な生活をできる住居である場合は、「イ」欄にをつけてください。
3. 現在、本人の住居が、生活をする上で、居住性に一部、問題がある場合は、「ウ」欄にをつけてください。
4. 現在、本人の住居が、生活をする上で、居住性にかなり問題がある場合は、「エ」欄にをつけてください。
5. 現在、施設や病院に入所（院）していて、退所（院）後の居住がないという場合は、「オ」欄にをつけてください。

8. 入居希望時期について

1. 実際に施設に入居したい時期について、“今すぐ入居したい”と“○年○月○日頃までに入居したい”のどちらか希望の欄にをつけてください。
2. なお、“○年○月○日頃までに入居したい”場合には、その希望の年月日をご記入ください。

9. 医療の状況について

1. 現在受けている治療で、“経管栄養”“胃ろう”“在宅酸素”“インシュリン注射”の欄にをつけてください。また、その他特別な治療を受けている場合は、“その他”の欄にをつけ、その内容をご記入ください。
2. 現在、治療を受けている病名や、とくに注意事項などがあればご記入ください。

10. 生活歴について

これまでの生活歴について、出生地、学歴、職歴、結婚歴、家族などについて、差し支えない範囲でご記入ください。

11. 申込状況について

1. 今回、当施設に入居を申込みほか、他の施設に申込みをされているかどうかについて、あてはまる□欄に☑をつけてください。
2. なお、現在、既に入居申込みをしている施設があればその施設名を、今後、申込みを行う予定の施設があればその施設名をご記入ください。

12. 主たる介護者について

1. 本人を日頃、介護している方についてご記入ください。
2. なお「意見」欄にはとくに介護上での悩みなどがあれば、ご記入ください。

13. 紹介事業所について

今回、当施設に入居を申込みにあたり、当施設の紹介を受けた居宅介護支援事業所または在宅介護支援センターがあれば、その事業所（センター）名、電話番号、担当者についてご記入ください。

提出頂く書類

< 1. 御本人様が記入する場合 >

- ① 「入居申込書」
- ② 「介護老人福祉施設入所にかかる要介護認定等に関する文書の開示依頼書」及び、「委任状」
- ③ 「介護保険被保険者証」の写し
- ④ 「介護保険負担限度額証」の写し
※この証で「お部屋代」・「お食事代」が安くなる可能性があります

< 御家族様が記入する場合 >

- ① 「入居申込書」
- ② 「調査票」
- ③ 「介護老人福祉施設入所にかかる要介護認定等に関する文書の開示依頼書」及び、「委任状」
- ④ 「介護保険被保険者証」の写し
- ⑤ 「介護保険負担限度額証」の写し
※この証で「お部屋代」・「お食事代」が安くなる可能性があります

社会福祉法人 湯らん福祉会
特別養護老人ホーム 永山園
施設長 東久保 守

担当：業務係長 兼 生活相談員
笹原 周

電話：0166-48-3033

指定介護老人福祉施設 入居申込書

記入例

申込者（連絡先） 今後、郵送物などはこの連絡先にお送りさせていただきます。

申込日	2/15/2001
受付日	2/16/2001



〒 : ●●● - ●●●●

住所 : 札幌市中央区北●条西●丁目●番地

氏名 : 山田 花子 続柄 子

電話 : ●●● (●●●) ●●●●

特別養護老人ホームに入居したいので
次のとおり申し込みます。

申し込み先 (入居希望施設)		●●ハイツ		保 険 者	札幌市
(フリガナ)				性別	
氏 名		Y. F		女性	
生年月日		大正 2 年 ● 月 ● 日 (90) 歳		被保険者番号	— 各自被保険者証をご覧ください —
現 住 所		〒●●●● - ●●●●		要介護度	要介護5
現 況		札幌市北区●●町●条●丁目●番地			
現 況		自宅で一人で暮らしている 自宅で家族と暮らしている 特養などの施設や病院に入っている 「施設や病院等に入っている方」は記入してください ◇施設名又は病院名： ◇所在地（市町村名のみ） ◇入所又は入院時期： 平成 年 月 から入所・入院している			
介護者等の 状況	家族構成	ア. イ・ウ以外の世帯 イ. 高齢者夫婦世帯 ウ. 独居			
	介護者の有無	ア. 主たる介護者以外に必要時に協力者有り イ. 介護者は一人のみ ウ. 介護者はいない			
	介護者の年齢	ア. 60歳未満 イ. 60～74歳 ウ. 75歳以上（介護者はいない）			
	介護者の健康	ア. 健康である イ. 健康に不安を抱えている ウ. 介護者自身が要介護者である（介護者はいない）			
	介護可能時間	ア. 十分に介護に当たる時間有 イ. 一部不在になる時間有 ウ. ほとんど時間が取れない（介護者はいない）			
	要介護者との関係	ア. 良好 イ. 介護は行っているが疲労感が強い ウ. 介護放棄等、最低限の関わりのみ（介護者はいない）			
入居希望者の 生活・経済状況	待機状況	ア. 施設・病院等に入所中で退所の働きかけがない <入所中で退所の働きかけがある=入所可能期間 (制限なし ウ. 6～12ヵ月 イ. 6ヶ月未満) オ. 自宅等			
	在宅サービス 利用率	ア. 施設・病院等に入所（院）中 イ. 限度額の40%未満 ウ. 限度額の40%～60%未満 イ. 限度額の60%～80%未満 オ. 限度額の80%以上			
	在宅サービス 利用状況	ア. 施設・病院等に入所（院）中 イ. 十分サービスを利用している ウ. まあまサービスを利用している イ. 一部サービスを抑制している オ. ほとんどサービスを抑制している			
	保険料の段階	ア. 第5段階以上 イ. 第4段階 ウ. 第3段階 イ. 第2段階 オ. 第1段階			
	住 居	ア. 施設・病院等に入所（院）中 イ. 快適な生活のできる住宅 ウ. 一部居住性に問題がある イ. かなり居住性に問題がある オ. 帰る住まいがない			
	入居希望時期	今すぐ入居したい 12/1/2002 頃までに入居したい			
医療の状況	経管栄養 胃ろう 在宅酸素 インシュリン注射 その他 () 【現在治療中の病気・特記事項等】 老人性難聴と診断され、現在補聴器を使用中である。				
生活歴	・出生 ・学歴 ・職歴 ・結婚歴 ・子供 ・その他 大正2年、●●町にて生を受ける。昭和●年に結婚、3男2女をもうける。平成●●年に夫と死別、以来自宅で一人暮らしである。				
申込状況	当該施設のみ申し込み 他の施設申し込んでいる、又は今後申し込む予定 ◇既に申し込んでいる他の施設名 (●●荘) () ◇今後申し込む予定の他の施設名 (なし) ()				
主たる 介護者	(フリガナ)			性別	
	氏 名	山田 花子		本人との関係	娘
	同居の区分	同居している 別居している (住所: 札幌市中央区北●条●丁目●番地)		生年月日	昭和 ● 年 ● 月 ● 日
	意 見	【介護をしている上で困っていること等】 最近、痴呆の症状が出ており、火の不始末など一人暮らしをさせておくのが非常に心配である。			
紹介事業所 (又は支援センター名)	居宅介護支援事業所 ●●センター 電話番号 ●●● - ●●● - ●●●● 担当 佐幌 良子				

指定介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）入居優先度判定基準＜第一次試案＞

お客様氏名	様
-------	---

1. 要介護度	判定	A
---------	----	---

2. 精神症状・行動障害の状況	判定	E
-----------------	----	---

判定基準 一次判定				
1. 要介護度	2. 精神症状・行動障害	3. 介護者等の状況	4. 生活経済状況	一次判定
A	E	B	A	B

①被害妄想	ア	⑪落ち着きなし	ア	【凡例】 ア. ない イ. ときどきある ウ. ある 【判定基準】 ・ Aランク：“イ”と“ウ”の合計が10項目以上 ・ Bランク：“イ”と“ウ”の合計が7～9項目 ・ Cランク：“イ”と“ウ”の合計が4～6項目 ・ Dランク：“イ”と“ウ”の合計が1～3項目 ・ Eランク：全項目が“ア”
②作話	ア	⑫外出して戻れない	ア	
③幻視幻聴	ア	⑬一人で出たがる	ア	
④感情が不安定	ア	⑭収集癖	ア	
⑤昼夜逆転	ア	⑮火の不始末	ア	
⑥暴言暴行	ア	⑯物や衣類を壊す	ア	
⑦同じ話をする	ア	⑰不潔行為	ア	
⑧大声を出す	ア	⑱異食行動	ア	
⑨介護に抵抗	ア	⑲性的迷惑行為	ア	
⑩常時の徘徊	ア			

3. 介護者等の状況	判定	B
------------	----	---

①家族構成	ウ	ア. イ・ウ以外の世帯 イ. 高齢者夫婦世帯（18歳未満の子と夫婦との世帯を含む） ウ. 独居
②介護者の有無	イ	ア. 主たる介護者以外に必要時に協力者あり イ. 介護者は1人のみ ウ. 介護者はいない
③介護者の年齢	イ	ア. 60歳未満 イ. 60～74歳 ウ. 75歳以上（「介護者はいない」を含む）
④介護者の健康	イ	ア. 健康である イ. 健康に不安を抱えている ウ. 介護者自身が要介護者である（「介護者はいない」を含む）
⑤介護可能時間	イ	ア. 十分介護にあたる時間がある イ. 一部不在になる時間がある ウ. ほとんど介護にあたる時間が取れない（「介護者はいない」を含む）
⑥要介護者との関係	イ	ア. 良好 イ. 介護を行っているが疲労感強い ウ. 虐待・介護放棄等、最低限の関わりのみ（「介護者はいない」を含む）
判定基準		・ Aランク：独居で介護者がいない ・ Bランク：“イ”と“ウ”の合計が5～6項目 ・ Cランク：“イ”と“ウ”の合計が3～4項目 ・ Dランク：“イ”と“ウ”の合計が1～2項目 ・ Eランク：全項目が“ア”

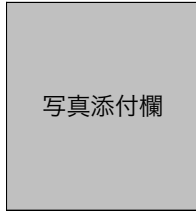
4. 生活・経済等の状況	判定	A
--------------	----	---

①待機状況	オ	ア. 施設・病院等に入所中で退所の働きかけがない <入所中で退所の働きかけがある=入所可能期間（イ. 制限なし ウ. 6～12ヶ月 エ. 6ヶ月未満） オ. 自宅等
②在宅サービス利用率	オ	ア. 施設・病院等に入所中 イ. 限度額の40%未満 ウ. 限度額の40～60%未満 エ. 限度額の60～80%未満 オ. 限度額の80%以上
③在宅サービス利用状況	オ	ア. 施設・病院等に入所中 イ. 十分サービスを利用している ウ. まあまあサービスを利用している エ. 一部サービス利用を抑制している オ. かなりサービス利用を抑制している
④保険料の段階	オ	ア. 第5段階以上 イ. 第4段階 ウ. 第3段階 エ. 第2段階 オ. 第1段階
⑤住居	ア	ア. 施設・病院等に入所中 イ. 快適な生活ができる住宅 ウ. 一部居住性に問題がある エ. かなり居住性に問題がある オ. 帰る住まいがない
判定基準		※“ア”に0点、“イ”に1点、“ウ”に2点、“エ”に3点、“オ”に4点の得点を与え、合計点数を算出し、下記によりランクを設定する。 ・ Aランク：16～20点 ・ Bランク：11～15点 ・ Cランク：6～10点 ・ Dランク：1～5点 ・ Eランク：0点

指定介護老人福祉施設 入居申込書

申込者（連絡先） 今後、郵送物などはこの連絡先にお送りさせていただきます

申込日	/ /
受付日	/ /



〒	—
住所	
氏名	続柄
電話	()

特別養護老人ホームに入居したいので
次のとおり申し込みます。

申し込み先 (入居希望施設)		特別養護老人ホーム 永山園		保 険 者		
(フリガナ)				性別		
氏 名				被保険者番号		
生年月日		年 月 日 () 歳		要介護 認定期間		
現住所		〒 —		平成 年 月 日 から 平成 年 月 日 まで		
現 況		自宅で一人で暮らしている 自宅で家族と暮らしている 特養などの施設や病院に入っている 「施設や病院等に入っている方」は記入してください ◇施設名又は病院名： ◇所在地（市町村名のみ） ◇入所又は入院時期： 平成 年 月 から入院している				
介護者等の 状況	家族構成	ア. イ・ウ以外の世帯 イ. 高齢者夫婦世帯 ウ. 独居				
	介護者の有無	ア. 主たる介護者以外に必要時に協力者有り イ. 介護者は一人のみ ウ. 介護者はいない				
	介護者の年齢	ア. 60歳未満 イ. 60～74歳 ウ. 75歳以上（介護者はいない）				
	介護者の健康	ア. 健康である イ. 健康に不安を抱えている ウ. 介護者自身が要介護者である（介護者はいない）				
	介護可能時間	ア. 十分に介護に当たる時間有り イ. 一部不在になる時間有り ウ. ほとんど時間が取れない（介護者はいない）				
	要介護者との関係	ア. 良好 イ. 介護は行っているが疲労感が強い ウ. 十分な介護は出来ておらず、最低限の関わりのみ（介護者はいない）				
入居希望者の 状況	待機状況	ア. 施設・病院等に入所中で退所の働きかけがない <入所中で退所の働きかけがある=入所可能期間 (制限なし) ウ. 6～12カ月 イ. 6ヶ月未満) オ. 自宅等				
	在宅サービス 利用率	ア. 施設・病院等に入所（院）中 イ. 限度額の40%未満 ウ. 限度額の40%～60%未満 イ. 限度額の60%～80%未満 オ. 限度額の80%以上				
	在宅サービス 利用状況	ア. 施設・病院等に入所（院）中 イ. 十分サービスを利用している ウ. まあまあサービスを利用している イ. 一部サービスを抑制している オ. ほとんどサービスを抑制し				
	保険料の段階	ア. 第5段階以上 イ. 第4段階 ウ. 第3段階 イ. 第2段階 オ. 第1段階				
	住 居	ア. 施設・病院等に入所（院）中 イ. 快適な生活のできる住宅 ウ. 一部居住性に問題がある イ. かなり居住性に問題がある オ. 帰る住まいがない				
	入居希望時期	今すぐ入居したい / / 頃までに入居したい				
医療の状況	経管栄養 胃ろう 在宅酸素 インシュリン注射 その他 () 【現在治療中の病気・特記事項等】					
生活歴	・出生 ・学歴 ・職歴 ・結婚歴 ・子供 ・その他					
申込状況	当該施設のみ申し込み 他の施設申し込んでいる、又は今後申し込む予定 ◇ 既に申し込んでいる他の施設名 () () ◇ 今後申し込む予定の他の施設名 () ()					
主たる 介護者	(フリガナ)			性別		
	氏 名			本人との関係		
	同居の区分	同居している 別居している (住所：)		生年月日		
	意見	【介護をしている上で困っていること等】				
紹介事業所 (又は支援センター名)	電話番号 担当					

指定介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）入居優先度判定基準＜第一次試案＞

お客様氏名	様
-------	---

1. 要介護度	判定	
---------	----	--

2. 精神症状・行動障害の状況	判定	E
-----------------	----	---

判定基準 一次判定				
1. 要介護度	2. 精神症状・行動障害	3. 介護者等の状況	4. 生活経済状況	一次判定
	E			

①被害妄想	ア	⑪落ち着きなし	ア	【凡例】 ア. ない イ. ときどきある ウ. ある 【判定基準】 ・Aランク：“イ”と“ウ”の合計が10項目以上 ・Bランク：“イ”と“ウ”の合計が7～9項目 ・Cランク：“イ”と“ウ”の合計が4～6項目 ・Dランク：“イ”と“ウ”の合計が1～3項目 ・Eランク：全項目が“ア”
②作話	ア	⑫外出して戻れない	ア	
③幻視幻聴	ア	⑬一人で出たがる	ア	
④感情が不安定	ア	⑭収集癖	ア	
⑤昼夜逆転	ア	⑮火の不始末	ア	
⑥暴言暴行	ア	⑯物や衣類を壊す	ア	
⑦同じ話をする	ア	⑰不潔行為	ア	
⑧大声を出す	ア	⑱異食行動	ア	
⑨介護に抵抗	ア	⑲性的迷惑行為	ア	
⑩常時の徘徊	ア	⑳ひどい物忘れ	ア	

3. 介護者等の状況	判定	
------------	----	--

①家族構成		ア. イ・ウ以外の世帯 イ. 高齢者夫婦世帯（18歳未満の子と夫婦との世帯を含む） ウ. 独居
②介護者の有無		ア. 主たる介護者以外に必要時に協力者あり イ. 介護者は1人のみ ウ. 介護者はいない
③介護者の年齢		ア. 60歳未満 イ. 60～74歳 ウ. 75歳以上（「介護者はいない」を含む）
④介護者の健康		ア. 健康である イ. 健康に不安を抱えている ウ. 介護者自身が要介護者である（「介護者はいない」を含む）
⑤介護可能時間		ア. 十分介護にあたる時間がある イ. 一部不在になる時間がある ウ. ほとんど介護にあたる時間が取れない（「介護者はいない」を含む）
⑥要介護者との関係		ア. 良好 イ. 介護が行っているが疲労感強い ウ. 虐待・介護放棄等、最低限の関わりのみ（「介護者はいない」を含む）
判定基準		・Aランク：独居で介護者がいない ・Bランク：“イ”と“ウ”の合計が5～6項目 ・Cランク：“イ”と“ウ”の合計が3～4項目 ・Dランク：“イ”と“ウ”の合計が1～2項目 ・Eランク：全項目が“ア”

4. 生活・経済等の状況	判定	
--------------	----	--

①待機状況		ア. 施設・病院等に入所中で退所の働きかけがない <入所中で退所の働きかけがある=入所可能期間（イ. 制限なし ウ. 6～12ヶ月 エ. 6ヶ月未満） オ. 自宅等
②在宅サービス利用率		ア. 施設・病院等に入所中 イ. 限度額の40%未満 ウ. 限度額の40～60%未満 エ. 限度額の60～80%未満 オ. 限度額の80%以上
③在宅サービス利用状況		ア. 施設・病院等に入所中 イ. 十分サービスを利用している ウ. まあまあサービスを利用している エ. 一部サービス利用を抑制している オ. かなりサービス利用を抑制している
④保険料の段階		ア. 第5段階以上 イ. 第4段階 ウ. 第3段階 エ. 第2段階 オ. 第1段階
⑤住居		ア. 施設・病院等に入所中 イ. 快適な生活ができる住宅 ウ. 一部居住性に問題がある エ. かなり居住性に問題がある オ. 帰る住まいがない
判定基準		※“ア”に0点、“イ”に1点、“ウ”に2点、“エ”に3点、“オ”に4点の得点を与え、合計点数を算出し、下記によりランクを設定する。 ・Aランク：16～20点 ・Bランク：11～15点 ・Cランク：6～10点 ・Dランク：1～5点 ・Eランク：0点

【 調 査 票 】

ご家族が申し込まれる場合のみご記入ください。

ご記入の際は、別紙【調査票の記入の仕方】を参考の上、該当する項目がある場合は、番号に○印をつけてください。

ご本人が申し込まれる場合は、この調査票は不要です。

- | | | | |
|--------------------------------|-------|-----------|-------|
| ア. 物を盗られたなどと被害的になることが | 1. ない | 2. ときどきある | 3. ある |
| イ. 作話をし周囲に言いふらすことが | 1. ない | 2. ときどきある | 3. ある |
| ウ. 実際にはないものが見えたり、聞こえることが | 1. ない | 2. ときどきある | 3. ある |
| エ. 泣いたり、笑ったりして感情が不安定になることが | 1. ない | 2. ときどきある | 3. ある |
| オ. 夜間不眠あるいは昼夜の逆転が | 1. ない | 2. ときどきある | 3. ある |
| カ. 暴言や暴行が | 1. ない | 2. ときどきある | 3. ある |
| キ. しつこく同じ話をしたり、不快な音を立てることが | 1. ない | 2. ときどきある | 3. ある |
| ク. 大声をだすことが | 1. ない | 2. ときどきある | 3. ある |
| ケ. 助言や介護に抵抗することが | 1. ない | 2. ときどきある | 3. ある |
| コ. 目的もなく動き回ることが | 1. ない | 2. ときどきある | 3. ある |
| サ. 「家に帰る」等と言い落ち着きがないことが | 1. ない | 2. ときどきある | 3. ある |
| シ. 外出すると病院、施設、家などに1人で戻れなくなることが | 1. ない | 2. ときどきある | 3. ある |
| ス. 1人で外に出たがり目が離せないことが | 1. ない | 2. ときどきある | 3. ある |
| セ. いろいろなものを集めたり、無断でもってくるものが | 1. ない | 2. ときどきある | 3. ある |
| ソ. 火の始末や火元の管理ができないことが | 1. ない | 2. ときどきある | 3. ある |
| タ. 物や衣類を壊したり、破いたりすることが | 1. ない | 2. ときどきある | 3. ある |
| チ. 不潔な行為を行う（排泄物を弄ぶ）ことが | 1. ない | 2. ときどきある | 3. ある |
| ツ. 食べられないものを口に入れることが | 1. ない | 2. ときどきある | 3. ある |
| テ. 周囲が迷惑している性的行動が | 1. ない | 2. ときどきある | 3. ある |
| ト. ひどい物忘れが | 1. ない | 2. ときどきある | 3. ある |

【調査票の記入の仕方】

この調査は日常生活において問題となる行動についてあるかどうか、また、ある場合にはその頻度を記入していただくものです。

ご家族が申し込まれる場合は、主たる介護者の方がご記入ください。

又、ご本人が申し込まれる場合は、ご記入は不要です。

この場合は、当施設のケアマネージャーがご家族の代理人として、旭川市に介護認定等に用いる認定調査票を請求し参考に致しますので、別紙『介護老人福祉施設入所に係る要介護認定等に関する文書の開示依頼書』と『委任状』にご記入の上、ご返送ください。

主たる介護者の方は、下記の記入方法を参考の上、該当する項目がある場合は、番号に○印を付けて下さい。

選 択 肢 の 判 断 基 準

「1. ない」

その問題となる行動が、(過去に1回以上あったとしても) 過去1ヶ月間に一度も現れたことがない場合やほとんど月1回以上の頻度では現れない場合をいいます。意識障害、寝たきり、痴呆等の理由により、徘徊等が起こりえないなど、その問題となる行動が現れる可能性がほとんどない場合も含みます。

「2. ときどきある」

少なくとも1ヶ月間に1回以上の頻度で現れる場合をいいます。2つ以上の状況を例示している選択肢について、いずれかが、ときどきある場合も含みます。頻度は「特記事項」に記載しています。

「3. ある」

少なくとも1週間に1回以上の頻度で現れる場合をいいます。2つ以上の状況を例示している選択肢について、いずれか一つでもある場合も含みます。

【調査票の記入方法】

ア. 物を盗られたなどと被害的になる

実際は盗られていないものを盗られたという等、被害的な場合をいいます。

イ. 作話をし周囲に言いふらす

作話を不特定多数に言ってまわる場合をいいます。作話をしても、特定の人にのみ話をする場合は該当しません。

(自分に都合のいいように事実と異なる話をすることも含みます)

ウ. 実際にはないものが見えたり、聞こえたりする

錯覚、幻覚、幻聴などにより、何かが見えたとか、聞こえたと話したり、手で追い払うなどの場合をいいます。

(飛蚊症は該当しません)

エ. 泣いたり、笑ったりして感情が不安定になる

悲しみや不安などにより涙ぐむ、感情的にうめくなどの状況が持続したり、あるいは突然笑い出すなど、明らかに感情が不安定になる場合をいいます。

(突然、怒り出す場合も含みます)

オ. 夜間不眠あるいは昼夜の逆転がある

夜間不眠の訴えが何日間か続いたり、明らかに昼夜が逆転するなどし、そのために日常生活に支障を生じている場合をいいます。

(不眠の原因は問いません)

(睡眠薬等の投与により睡眠がうまくコントロールされていれば、「1. ない」と判断します)

カ. 暴言や暴行を行う

発語的暴力(暴言)と物理的暴力(暴行)のいずれか、あるいは両方が現れる場合をいいます。

キ. しつこく同じ話をしたり、不快な音を立てる

絶えず独語や同じ話をくり返したり、口や物を使って周囲に不快な音を立てる場合をいいます。

ク. 大声をだす

周囲に迷惑となるような大声をだす場合をいいます。日常会話で声大きい場合等は含みません。

ケ. 助言や介護に抵抗する

調査対象者と介護者との人間関係的要素も含まれるが、明らかに介護者の助言や介護に抵抗し、介護に支障がある場合をいいます。単に助言しても従わない場合（言っても従わない場合）は含みません。

コ. 目的もなく動き回る

歩き回る、車いすで動き回る、床やベッドの上で這い回るなど、目的もなく動き回る場合をいいます。

サ. 「家に帰る」等と言いつち着きがない

施設等で「家に帰る」と言ったり、自宅にいても自分の家であることがわからず「家に帰る」等と言って落ち着きがなくなる場合をいいます。単に「家に帰りたい」と言うだけで状態が落ち着いている場合は含みません。

シ. 外出すると病院、施設、家などに1人で戻れなくなる

居室や居住棟から出て自室や自宅に戻れなくなる場合をいいます。

ス. 1人で外に出たがり目が離せない

外に出たがり、目が離せない場合をいいます。環境上の工夫等で外に出ることがなかつたり、または歩けない場合等は含みません。

セ. いろいろなものを集めたり、無断でもってくる

いわゆる収集癖の場合をいいます。周囲の迷惑とならない、ひもや包装紙などを集める等の趣味は含みません。

ソ. 火の始末や火元の管理ができない

たばこの火、ガスコンロなどあらゆる火の始末や火元の管理ができない場合をいいます。環境上の工夫等で、火元に近づくことがなかったり、周囲の人々によって火元が完全に管理されている場合は含みません。

タ. 物や衣類を壊したり、破いたりする

物を壊したり、衣類を破いたりする行動によって日常生活に支障が生じる場合をいいます。壊れるものを周囲に置いていなかったり、破れないように工夫している場合は含みません。

(衣類等を捨ててしまう行為により、物や衣類を壊したり破いたりするのと同様の支障が出る場合も含みます)

チ. 不潔な行為を行う (排泄物を弄ぶ)

弄便 (尿) など排泄物を弄ぶ、尿を撒き散らす場合をいいます。身体が清潔でないことは含みません。

(室内や廊下等で排泄した排泄物がそのままになっており、気づかずに踏んだりしても、弄んでいるわけではないので含みません)

(単に衣類に便がついていたり、尿失禁で汚れた衣類を交換しない、また、そのために身体が清潔でないことは含みません)

ツ. 食べられないものを口に入れる

異食行動をいいます。過食行動や、異食しそうなものを周囲に置かない場合は含みません。

(完全に飲み込まなくても口の中に入れてれば異食行動に含みます)

テ. 周囲が迷惑している性的行動がある

ここでいう性的行動とは、そのために周囲が迷惑している言動と判断される場合をいいます。

ト. ひどい物忘れ

ひどい物忘れがあるために、日常生活に支障が生じる場合をいいます。